

# 近畿税政連

令和5年(2023年)

8月10日

第264号

発行所 近畿税理士政治連盟

発行人 久保直己 / 編集人 矢田善久

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050

URL https://kinzeisei.jp/ e-mail info@kinzeisei.jp



上高地大正池 (長野県松本市)

撮影: 片岡 幸造 (須磨支部)

- 支部連会長・後援会会長連絡会議を開催 ..... 3
- 会員研修会を開催 ..... 4



税制改正の実現には国会議員の力を借りるしかない。そのために後援会を作り議員を応援し、そして税制改正要望を聞いていただく関係を作らなければならない。設立総会は、議員および会員が集まり当連盟の会長や幹事長も出席

しお祝いを述べ、今後の期待を込めて盛大におこなう。その模様が広報紙で紹介される。また選挙になると会員が電話などによる投票依頼をおこなう。議員も税制改正要望を真剣に聞いてくれる。つまりギブアンドテイクの関係だ。ただ、議員もいつかは退任される。退任の事由には選挙に落選し以後立候補しない場合や、病気などでやむなく辞職する、年齢などの理由で勇退されることもあるだろう。そこでわれわれの活動に協力をいただい

## 国会議員等後援会の解散

た議員の後援会を解散する場合には、設立するとき以上に感謝の気持ちを込めて解散総会をおこない、当広報紙にも紹介すべきだ。一昨年の衆議院総選挙で立候補せず引退された伊吹文明前議員には、税制改正・税理士法改正にご尽力いただいた。また会員向けの講演もお願いし、税理士業界にとって大変お世話になったので、税理士による伊吹文明後援会の解散総会では議員への感謝と会員への慰労の気持ちで多くの会員に参加していただいた。すべてではないが税理士による国会議員等後援会の解散総会は、設立総会と同じくらいの意味合いがあるのではないかと。最後の解散総会を後援会として会員と共に締めくくっていただきたいと切に願うばかりである。

(副幹事長 室谷澄男)



近畿税政連では「税理士による国会議員等後援会の支援に関する規程」を定め支援後援会に対し、活動助成金を交付しています。支援後援会被支援者となる要件は、

1. 近畿税理士会の方針にそい、本連盟規約第3条【本連盟は近畿税理士会の方針に副い税理士の社会的、経済的地位の向上を図るとともに、納税者のための民主的税理士制度及び租税制度並びに税務行政を確立するため、必要な政治活動を行うことを目的とする】および毎年の運動方針に基づきおこなわれる本連盟の政治活動の趣旨を理解し一体となって活動すると認められる者。

2. 過去において税理士制度の発展に尽力した者および今後税理士制度の発展に対し協力が得られると認められる者。

以上の2要件です。後援会が設立認定要件を満たし、かつ、被支援者が上記要件に該当することを正副幹事長会が認定して支援後援会となります。また、認定後も、会員構成要件・支援継続要件・活動要件に準拠するよう、後援会対策委員会で指導連絡をおこなっています。

近税政会員である税理士の数多くの先生方が、選挙区内外を問わず、地域や知己で縁のある「税理士による国会議員等後援会」に入会いただき、税理士としての魅力や人間性を発揮され、支援国会議員と親しく交わっていただくことを願うものであります。そのことが税政連活動の活性化・税理士制度の益々の発展に寄与するものと確信しています。

## 支部連会長・後援会会長連絡会議を開催

近税政は、7月14日に近畿税理士会館において「支部連会長・後援会会長連絡会議」を開催した。議題1では、6月23日に日税政において「令和6年度税制改正に関する要望」が機関決定されたことを受け、各後援会が関係国会議員等にできるだけ効果的な陳情を実施できるように、日税政より秋山典久政策委員長を講師に迎え、令和6年度税制改正要望に関する勉強会をおこなった。日税連調査研究部で各单位税理士会から提出された「意見書」を基に審議され、毎年6月に「建議書」が取りまとめられる。

日税政もその検討に参加し、日税連と日税政間において、建議書作成のための調整がおこなわれる過程が説明された。さらに「令和6年度税制改正に関する要望」および「令和6年度税制改正に関する建議・要望」リーフレットの構成と本年の要望の特徴についての解説がなされた。それに対して、近税政の田幹事長と長谷川国対委員長も登壇して質問をおこない、コメントをいただくパネルディスカッションがおこなわれた。



議題2では、今年予定されている衆議院議員総選挙に向けての対策について、また衆議院選挙区割りの変更についての説明が、長谷川国対委員長よりなされた。

議題3では、後援会支援規程の支援継続要件の達成状況について、そして支援規程の経過措置の見直しについての報告が室谷後援会対策委員長よりあった。

議題4では、再び秋山日税政政策委員長より、令和2年に和解により終結した栃木税政連の事件について訴訟の経緯と今後の対策についての説明があった。(上京支部 矢田善久)



# 会員研修会を開催

6月10日 国民會館

近畿税理士政治連盟会員研修会が、昨年に引き続き盛大に開催された。

近税政久保会長のあいさつに続き、研修会は、2部形式で実施された。

## 第1部 参議院議員 松川るい先生

「日本有事はあるのか  
～防衛と経済に与える影響～」

## 第2部 近畿税理士会 藤田隆大調査研究部長

「令和5年度税制改正について」



### 第1部「日本有事はあるのか」

「日本有事はあるのか」ということは「台湾有事はあるのか」ということになる。中国は、2027年に侵攻するための軍事的準備を完了するようにと習近平主席は指示している。中国の専門家によると「中国共産党にとって、台湾統一は国是である」ということである。中国は、平和的に統一したいと考えている。認知戦を仕掛けアメリカや日本が関わりを持たないやり方をすると考える。

台湾の国民は現状維持を望んでいる。台湾では来年1月に総統選挙がある。与党民進党に対して野党国民党は中国との対話を重視している。また、これにアメリカ大統領選挙が絡んでくる。トランプ（共和党）が勝利すれば孤立主義となっていく。台湾が中国に統一されると、アメリカの視点に立てば、西太平洋が中国に押さえられることになるため、台湾防衛をすることになる。日本はアメリカの後方支援をおこな

うこととなり、沖縄、与那国が戦火に巻き込まれることになる。このように考えると争いを起こさないように、防衛力を強化するとともに、パートナーとなる国々を増やしていくことをしていかなければならない。中国、北朝鮮、ロシアに向き合うには、外交と防衛が車の両輪である。

次に経済の問題については、今後、5年間に防衛費として43兆円の予算を考えているが、その8割が国内向けのものである。防衛産業においては、建造するのに、船は5年、戦闘機は5年以上かかるといわれているので長期契約が必要である。今、防衛産業から企業が撤退している。それを阻止し、育成するようになる必要がある。防衛産業は「造る」「メンテナンス」「教育」とすそ野が広いいため、国内経済によい影響をもたらす。防衛装備の海外移転等を通じて、フィリピン、インドネシア、ベトナムなどとの防衛協力を進化させる必要がある。

2017年米中対立の顕在化、2022年ロシアのウクライナ侵攻を通じて、中国の台頭、アメリカの凋落、西洋の没落、グローバルサウスの存在感が増している。国を守ることが重要となっている。変わることを恐れない国、挑戦する国へと変貌させる必要がある。



### 第2部「令和5年度税制改正について」

令和5年度税制改正について、インボイス制度を中心に解説があった。

(堺支部 大谷富太郎)

## 後援会ニュース

### 柳本あきら後援会 設立総会

6月24日、税理士による柳本あきら後援会設立総会が、住吉大社吉祥殿において開催された。

来賓として、柳本顕衆議院議員、近税政本部より久保直己会長、田達満幹事長、河田秀雄大阪府連会長、福田尚武、坂本善哉、古川裕、高岡稔、原正人各支部連会長が出席した。



小倉文彦発起人の司会で開会し、中野雅司発起人代表の設立趣意説明につづき、議事に入り全議案が可決承認され、後援会会長には中山彰発起人が就任した。

久保近税政会長からの祝辞では「柳本議員は、維新の会に対峙すべく大阪市長選挙に立候補され40万票を獲得された。総選挙では比例区から当選され、環境大臣政務官を務められている」とあいさつがあった。

次に河田大阪府連会長が「先の国政選挙、統一地方選挙では大阪は大変な結果となった。柳本議員には頑張っていたいただきたい」と述べた。

柳本議員が登壇し「後援会の設立誠にありがとうございます。国政の場でぜひ先生方の税に関する深く幅広い知見をご提供いただきますよう心からお願い申し上げます。変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます」とあいさつがあった。

設立総会が無事に終了し、その後、会場を移して懇親会となり、盛会裏に散会となった。

(住吉支部 仕田原恒雄)

### 松本たけあき後援会

開催日 令和5年4月9日

場所 税務会館(姫路市)

来賓 松本たけあき 衆議院議員・総務大臣

久保直己 近税政会長

田達満 近税政幹事長

北岡昭 兵庫県第4支部連会長



税理士による松本たけあき後援会の第24回定期大会は、西村靖彦幹事長の司会のもと、前田俊明会長によるあいさつで開会し、議長に西村幹事長が選出され、議案はすべて可決承認した。

議案審議終了後、松本総務大臣による以下のあいさつ、および質疑応答がおこなわれた。

「いつも後援会でのご支援ありがとうございます。昨年、総務大臣を拝命させていただきました。総務省は地方税や地方自治に関する予算が大きな割合をしめていますが、通信関係の仕事もあり、やることが多いです。新しい資本主義のもと、脱炭素や研究開発の分野も含め官民連携が重要であります。日本が技術力などで世界の先頭に立って進められるよう、地方経済対策について中小企業を見ておられる先生方の意見を聞いて政策を誤らないようにしたいと思っております。大臣室には『しろまるひめ』も飾っておりますので是非ともお越しいただきたい」

最後に、久保近税政会長、北岡第4支部連会長、田近税政幹事長のあいさつがあり定期大会は閉会した。(姫路支部 板倉宏行)

## 伊吹文明後援会 解散総会

4月15日、一昨年の総選挙に立候補せずに勇退された伊吹文明前衆議院議員の後援会の解散総会が、京都ブライトンホテルで多くの会員の参加のもと盛大に開催された。来賓として、後継者である勝目やすし衆議院議員、近税政本部より、久保直己会長、田達満幹事長、京都府支部連より木村敏之会長が出席した。また、中国税理士政治連盟から重近實会長と井上博夫幹事長が駆け付けた。



総会に先立ち、室谷澄男（四代目）会長より長きにわたり税理士界が非常にお世話になり、また税制改正にお力添えをいただいた伊吹前議員に対してお礼の言葉が述べられ、感謝状を贈呈した。伊吹前議員からは「昭和58年の総選挙初当選で議員になる前から、税理士の先生方には後援会を作っていたいただき、私の37年間の政治生活への支持支援に心から感謝を申し上げます」と解散に際してのあいさつがあった。

勝目議員からは「品位ある政治を實踐してこられた伊吹先生の謙虚な政治姿勢を学び、地元京都と国との橋渡し役として全力を尽くします。国と京都の明日のために頑張ります」との決意表明があった。

総会終了後には、写真室に移動して参加者全員で最後の記念写真の撮影がおこなわれた。後援会からは出席した会員に、これまでの支援に対する感謝の意を込めたオリジナルの「一澤信三郎帆布バッグ」と伊吹前議員の趣味である料理の著書「いぶき亭 四季の食卓」がプレゼントされた。  
(上京支部 矢田善久)

## こやり隆史後援会

開催日 令和5年6月3日

場 所 ホテルニューオウミ（近江八幡市）

来 賓 こやり隆史 参議院議員

久保 直己 近税政会長

田 達満 近税政幹事長



税理士によるこやり隆史後援会の第7回総会が、ホテルニューオウミにおいて開催された。

安藤大輔幹事長の司会のもと、今井正人副会長の開会宣言、永野隆幸副会長の議長進行により、総会の議案はすべて可決承認された。久保会長より「こやり議員は本年4月20日参議院本会議において代表質問されるなど、着々と経験を積み重ねておられる。今後は専門である経産省関係の副大臣になっていただき、中小企業の活性化に貢献していただきたい」とのあいさつがあった。

こやり議員による国政報告では「令和5年度予算は、我が国が直面する内外の需要課題に対して道筋をつけ、未来を切り拓くための予算であるとの位置づけである。防衛、経済、食料、エネルギーの安全供給を一層強化する必要性が高まっており、具体的な構築が求められている。さらに、異次元の少子化対策にともなう子ども・子育て支援についてもスピード感を持って進めていきたい」とのあいさつがあった。

織戸英信支部連会長の乾杯で懇親会が始まり、終始和やかな雰囲気の中歓談がおこなわれ、上林清司副会長の中締めで散会となった。

(大津支部 小川宗彦)



## 武村展英後援会

税理士による武村展英後援会第2回定期総会が6月10日、ホテルポストンプラザ草津において開催された。来賓として武村展英衆議院議員、金子紀行近税政副会長、滋賀県支部連織戸英信会長、税理士によるこやり隆史後援会和澤清隆会長、安藤大輔幹事長、税理士による大岡としたか後援会中西知行幹事長が出席した。

総会は山田正人幹事長の司会により開会し、橋本淳副会長が議長に選任され、全議案が原案



どおり可決承認された。今回の総会で村井正純会長が退任し、新たに中川徳親会長が就任した。

来賓の金子副会長は、滋賀県は定数1減の区割り変更となるが〈新滋賀3区〉を今まで以上に支援をお願いしたいとのあいさつをされた。

続いて武村展英議員から国政報告があった。2050年カーボンニュートラルの実現に向け、グリーントランスフォーメーション(GX)を経済成長の好機ととらえたい。温室効果ガス排出量削減と産業競争力向上は相反すると思われてきたが、GXはそれら両立を目指すものである。一例に太陽光発電設備は現在、原材料のヨウ素採掘から完成品までの製造工程のほぼ全てを外国に依存しているが、日本国内でこれらの一貫生産体制を構築して、脱炭素と国内経済成長に尽力していきたいとのあいさつがあった。

衆議院を巡る政局が連日報道で賑わされている最中であるが、武村議員を囲んだ懇親会では後援会会員一同揺るぎない結束を改めて確認し散会した。(草津支部 吉川孝二)

### 近畿税理士政治連盟

# 第57回定期大会

日時：令和5年9月8日(金) 13時～

場所：帝国ホテル大阪

※代議員の先生方は出欠に関らず必ず委任状により議決権の行使をしてください。

# 税理士制度発展募金(令和4年度) ご協力に感謝いたします

令和5年6月30日までに、以下の737人の会員先生方  
にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

<b>【東支部】</b>	弓岡 俊文	南 順治	濱田 洋史	杉 孝一	千村 高司	高田 哲三	呑海 英治
相間 宏章	吉田 正樹	森 英雄	福田 平司	高木 康治	道野 充宏	辻本 博美	根来 和夫
新井 貴之	和田 勝弘	<b>【北支部】</b>	前川 武政	竹内 正	箕田 齊雄	中下 寛治	日根野谷精
在本 茂	渡邊 清治	阿部 孝明	味舌 啓之	竹原 正和	結城 順吉	藤村 恭弘	昼馬 義宏
井川 淳志	<b>【西支部】</b>	石岡 俊和	松下 隆信	太矢 努	若原 國宏	山口 秀秋	松浪 武久
池上 義孝	明石 智次	井上 泰正	八木 昭	中谷 廣一	<b>【東住吉支部】</b>	山本 哲世	南方 得男
池原 保三	柏木 英樹	大橋 生佳	八木 春作	橋本 光世	荻堂 直樹	弓手 宏亮	<b>【茨木支部】</b>
泉 洋平	亀山 勝幸	勝部 秀人	<b>【西淀川支部】</b>	林 武	岸村 次郎	吉田 信次	安達 正八
岩倉 一二	河合 保憲	加用 俊栄	仲田むつみ	南井 恒治	喜多 綾子	米満 信昌	石井 賢一
植木 心一	河合由紀子	川北 光博	松島萬三孝	<b>【門真支部】</b>	杉本 庄吉	<b>【八尾支部】</b>	伊月 圭子
梅崎 道夫	杉田 宗久	川崎 哲之	<b>【東淀川支部】</b>	大崎 正博	新居誠一郎	小林 昭一	今中 英雄
梅津 善一	田中 慎二	木原 義和	金子 重二	久保田金次郎	長谷川孝夫	杉井 卓男	今山 和美
榎崎 洋	田中 洋子	久保 良介	神谷 雅信	清水 佳子	福田 尚武	松下 俊晴	神山 兼治
大西 紀子	谷口喜久雄	小山 和人	神吉 愛子	菅原 正治	松田 夢	門出 章次	鷹 靖
大西 英樹	田 雄一郎	茂木 大輔	神吉 康史	中野 敦司	若本 克己	渡邊 海翁	神山 京子
大橋 弘幸	西関 善次	重満 将士	北出三千代	並木 正次	<b>【西成支部】</b>	<b>【堺支部】</b>	笹原 克重
岡本 忍	松井ひとみ	柴崎 光徳	園崎 裕	<b>【天王寺支部】</b>	小倉 文彦	東 俊夫	杉山 孝一
加地 郁雄	吉栖 照美	下山隆一郎	土井 勲	浅田 恒博	中山 彰	安藤 治彦	鈴木 崇
加藤 正親	吉村 政勝	高木 亮	永田 順久	石原 健次	西岡 祥典	池田 茂雄	武田 信央
金井 博基	<b>【港支部】</b>	高田 秀子	中村 靖弘	稲田 繁	<b>【住吉支部】</b>	池田真由子	谷井 肇
金子 秀哲	井神 一也	瀧本龍太郎	松岡 政男	今井 基剛	一瀬 守唯	井上 宗保	仲 猛夫
金村 聡彦	岡 訓範	玉城 祥啓	三好 英明	上西左大信	榎本 潔	大谷富太郎	中澤 保恵
河嶋 達	新名 徹	辻 弘	村瀬 義雄	内田 伸男	榎本 芳美	菊之井秀年	並川 洋子
川城 明彦	曾谷 敏勝	辻村登志子	森下 政彦	岡本 春市	北川 匡祥	北山 拓生	行方 康洋
岸部 輝一	中山 準子	中瀬 進一	森本 好昭	片山 雅博	仕田原恒雄	櫻井精四郎	廣田 孝一
北川 茂実	西村 典雄	那須 弘敬	山本多通男	久木田宣昭	瀬古 順子	佐々木晴美	藤井 信行
北田 全基	秦 雅彦	西川 榮治	<b>【旭支部】</b>	坂口 明久	田中 圭子	柴田 正吉	藤本 正実
北野 慎二	三浦 正人	後田 吉昭	赤澤 匡彦	嶋中 直隆	田 達満	下村 芳寛	船木 由子
北村 哲郎	<b>【南支部】</b>	平尾 明	旭 輝明	菅原 宏平	中野 陽香	高松 慶暢	本田 武士
熊木 耕平	上野 和雄	堀 三芳	天野香鶴子	武友 良直	中野 雅司	竹内 芳彦	松岡 久枝
衣目 修三	奥田 順	松本 圭一	上田 初幸	田部 純一	橋本 良弘	忠岡 博	松原 浩司
坂本 芳博	北村 慶和	森本 匡昭	上村 京勲	中尾 隆彦	増田 和博	年神 秀行	宮口 太
佐野 八朗	木原美津恵	矢野 文和	大久保一成	中川 欣哉	真鍋 光廣	中野 瑛文	宮田 義見
佐味登喜雄	小林 英夫	吉田 紀夫	栗栖 純一	中弥 和美	森本 勝志	中村 賢一	山内 幹雄
志賀 恒元	酒川 容哲	<b>【福島支部】</b>	上保 博	南口 純一	藪内 重人	中谷 潤	吉永 直也
鈴木 基之	笹田 淳	今崎 民治	白木 雅夫	南口 華恵	山下由美子	橋本多恵美	<b>【吹田支部】</b>
関根 素子	杉本 和裕	小野郁三朗	世古 建一	細田 宗嗣	大和 司	土師 秀作	東 秀夫
田中 淳	武田 誠次	小泉 丹二	高田 裕久	美甘 博義	余島 守	八文字正裕	稲葉 英基
田中 学	竹田 三徳	松下 誠志	中川 正治	安川 里誉	<b>【富田林支部】</b>	本田 浩基	平山 直樹
田村 守	壺見 晴彦	山神 清二	新田 博之	山田 雅成	稻次 啓介	<b>【泉大津支部】</b>	前田 秀雄
塚田 良幸	出口 忠伸	<b>【大淀支部】</b>	見浪 一敏	山本 一幸	垣内 晃	遠藤 孔人	<b>【豊能支部】</b>
中瀬 守	宮口耕一郎	池辺 健	宮下 公司	山本 敬三	瀧藤 憲彦	大西 博己	荒井 洋幸
中瀬 涉	室田 一榮	井津井一弘	山本 清一	脇阪 説男	段野 隆弘	笠井 慎五	衛藤 雄次
濱垣 治郎	山科治三郎	今中 徳治	<b>【城東支部】</b>	渡邊 昇	辻本 勇	阪 広久	沖名子祐光
藤田 洋	吉田 節子	今中 康友	池之本和哉	<b>【生野支部】</b>	濱 幸一	根尾 勉	小池 秀昌
藤田 義則	吉田 太三	大久保明信	尾崎 浩文	池田 隼啓	東瀧 正治	藤原 一彦	坂本 義郎
藤原 智	若林日出紀	大野 修	河田 秀雄	池田 裕智	<b>【東大阪支部】</b>	山口 茂	座間 昭男
本田 善章	<b>【浪速支部】</b>	小山田 明	木田 光伸	高永 文章	石田 嘉男	<b>【岸和田支部】</b>	芝 宏
前田 正雄	天野 利彦	上口 直子	久保 篤彦	<b>【東成支部】</b>	石津 良行	蘆原 賢一	首藤 裕之
榎家 小鈴	岩橋 一好	木下 尚一	小嶋 健生	中山 寿光	石橋 明史	清原 正治	土橋 哲夫
松岡 大藏	内海 清次	木下 泰三	小寺 隆弘	藤崎 泰	井筒 潮	坂口 和代	西村 公宏
松原 博吉	榮村 聡二	木村 元紀	<b>【枚方支部】</b>	<b>【阿倍野支部】</b>	今西 敦司	田口 誠	平山 高明
松本 常裕	篠田 格	坂本 善哉	稲田 増光	片山 功	上田 吉昭	中川 恵子	光成 創
三谷 智	辻本 友明	佐藤 裕之	海老原智子	片山 拓	金田 光世	藤原 博文	三原 健吾
森下巳代治	原 仁司	鯖戸 正造	大森 正	片山 秀雄	嶋田 薫	森下ゆかり	和田 浩孝
森下 芳一	檜垣 典仁	中川 猛	大森布実子	粉河 邦雄	首藤 直樹	<b>【泉佐野支部】</b>	<b>【上京支部】</b>
山本 晶一	夫馬 竜司	西田 隆郎	尾本 信行	鈴木 達也	砂本 清	坂本 博文	東 智之
矢本 博三	三腰 信幸	野津香代子	近藤 剛司		高岡 稔	田中 洋	大澤 哲夫



金子 洋一 木下 昌之 近藤 明夫 鹿野 幸裕 白木 和男 中島 宣夫 松村 一郎 室谷 澄男 矢田 善久 山中 基司 <b>【中京支部】</b> 芦田 勝博 安藤 耕二 上前 孝晴 大島 重久 土井 充 西村 猛 樋口ほあき 福島 重典 和田 泰裕 <b>【下京支部】</b> 海来 美鶴 加藤象二郎 木村 敏之 藏原 優介 志田 育夫 杉本 諒 竹中 康豊 竹村 一志 富村 将之 中西 勝重 中村 英生 橋本 清治 平瀬 聡 三方真理子 森 幸治 吉田 和之 <b>【右京支部】</b> 井上 達朗 岡本 理博 上原 洋平 河合 典之 岸本 郁男 達川甲太郎 谷口 政功	谷口 康夫 中村 洋平 平野 烈 藤田 高広 船越 善博 <b>【左京支部】</b> 井戸 忠夫 井戸 巳之 原 謙介 二股 茂 山田 正克 <b>【東山支部】</b> 作見 藏市 重田 公啓 中田 久弘 藤原 俊文 山崎 俊嗣 山元 直貴 <b>【伏見支部】</b> 市川 晃 杉田 德行 林 光伸 原口 裕之 山本 喜雄 <b>【宇治支部】</b> 今井 宏明 今西 正二 大高 友紀 小泉 彰孝 小泉 孝一 平松 正孝 山内 利明 <b>【福知山支部】</b> 衣川 憲治 中井 正紀 藤田 晴雄 船越 成人 <b>【宮津支部】</b> 川瀬 明 西田 文明 松宮 繁雄 山添 謙三 山井 嘉文 <b>【舞鶴支部】</b> 上原 正夫	山田 忠雄 山田 将彦 <b>【峰山支部】</b> 井本 篤志 林 同来 林 伯学 廣谷 倫成 <b>【神戸支部】</b> 相内 隆作 赤松 健二 池田 文生 石原 洋子 沖村 朝之 樽井 博 中川 博之 永野 卓美 西馬 正義 平井 直登 村田 千紘 <b>【灘支部】</b> 高見 悟 長谷川隆史 本岡 正則 <b>【須磨支部】</b> 旦 進 中野 裕之 三木 裕人 <b>【兵庫支部】</b> 稲次 勝弘 北野 参則 剣崎 牧 <b>【長田支部】</b> 岡田 洋祐 高井 秀樹 福田 隆彦 <b>【芦屋支部】</b> 垣見 芳正 蝉川 寛嗣 武村 弘 藤原 克彦 森本 康正 山口 竜義 吉田 智代 <b>【明石支部】</b> 大野 博明	河合 正美 藤本 昭博 藤本 晃 船造 幸雄 <b>【加古川支部】</b> 伊藤 治 尾崎佳世子 斉藤 保典 長岡 耕司 <b>【西宮支部】</b> 入江 洋 浦濱 勇 岡田 尚士 久保多佳子 阪田 稔 宅和 明彦 永田 清行 西山 幸一 平沼 丈司 前川 剛 御堂河内綾子 村田キヨ子 山口 有一 横山 文彦 <b>【尼崎支部】</b> 岩泉 周治 唐澤 康雄 辻子 房子 細川 美保 松川 弘己 宮本 信一 森川 幸敏 若原 昭 <b>【伊丹支部】</b> 荒木 栄邦 泉 和子 伊田 憲司 今田 幸史 岡田 彰徳 炭谷 徹 畑中 啓三 林 文彦 安田 信二 山口 正 <b>【柏原支部】</b>	足立 尚之 岩谷 宗圓 <b>【洲本支部】</b> 國武 智恵 真野 耕治 <b>【姫路支部】</b> 青木 真人 板倉 宏行 折山 正 柿坂 雅哉 金川 弘 加納 寛 河本 勝英 北岡 昭 後藤加代子 後藤 信孝 清水 正治 坪田 昌彦 内藤 強 西垣 清貴 西垣 義弘 藤本 智宏 前田 實 町田 悟志 松岡 宸宏 山下 哲 幸 俊孝 <b>【三木支部】</b> 鷺見 英二 <b>【西脇支部】</b> 園崎 仁 <b>【社支部】</b> 黒石 淳司 西面 重一 多鹿 秀夫 長田 達子 檜原 一 <b>【龍野支部】</b> 馬場 智久 <b>【相生支部】</b> 秋山 強 村山 実 <b>【和山支部】</b> 人見 孝文 <b>【奈良支部】</b>	今崎 善彦 岩本 洋二 上松 康員 奥村 伸彦 景山 良一 北村 吉春 島田 明 岡司 節生 高橋 舞 武野 勝文 徳久亮太郎 中垣 安嗣 西口まゆり 藤本 英男 増井 隆彦 松本 実 安岡智斗志 <b>【葛城支部】</b> 近藤 洋 杉垣 輝樹 田中 俊男 棚田 敏正 辻井 賢博 中川憲二郎 藤田 徹 三谷 清重 森村 博史 山本 眞市 吉田 廣彰 <b>【桜井支部】</b> 杉本 幸弘 高田 雅信 玉置 正和 戸川 好道 西岡 明 <b>【和歌山支部】</b> 淡路 満 石川 泰廣 石倉 督斗 井上 敏孝 大住 文夫 岡野 良平 奥野 浩一 勝田 晃夫 川口 昌紀	木村 尚之 木村 雅彦 後安 宏彦 小西 里枝 内藤 博次 西川 悦史 額田 朋子 野志 幸雄 堀 博充 宮下 良一 山本 修司 <b>【海南支部】</b> 中尾 彰 橋爪 康樹 宮尾 文也 <b>【粉河支部】</b> 井村 徳治 奥田 崇喜 花井 敏晋 宮井 計英 <b>【湯浅支部】</b> 沼田 信也 秦 義幸 <b>【御坊支部】</b> 植田 将史 川口 英信 佐竹 節夫 <b>【田辺支部】</b> 池田 達夫 溝端 昭雄 <b>【新宮支部】</b> 宮崎 安弘 <b>【大津支部】</b> 石原 英之 伊藤 孝夫 小倉 一訓 織戸 英信 金子 紀行 久保 直己 小畑 雅裕 島洲 裕一 武田 正徳 中西 知行 八幡 知行 横井 昭次	和澤 清隆 <b>【今津支部】</b> 河原田新市 小畑 雅人 小畑 雅巳 地村ちか子 地村 秀磨 丹治 健一 中澤賢二郎 戸次威左武 前田 寿栄 <b>【草津支部】</b> 浅井 庄平 関 輝男 田中 正志 東郷 修 中丸 玲子 西村 宏 橋本 淳 眞神 農 増井 常夫 村井 正純 村田 正和 <b>【水口支部】</b> 相川 良和 東 安宏 <b>【近江八幡支部】</b> 大塚 浩司 山本 治三 <b>【彦根支部】</b> 北川 実 北川 良治 西堀 勝美 野坂 喜則 三輪 和宏 <b>【長浜支部】</b> 小高 寛三 本城 善男
--	--	--	--	--	---	--	---



# 第1回 写真コンテスト

## 応募締切のお知らせ

第1回「写真コンテスト」は、7月25日をもって作品応募を締め切らせていただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

審査結果の発表、表彰式等につきましては、9月中旬を予定しております。

また、入賞作品は、9月8日(金)の第57回定期大会会場に掲示し、令和6年新年号に掲載する予定です。

# 令和 4 年度会費 (令和 4 年 7 月～令和 5 年 6 月分) 支部連・支部収納率最終報告

	【支部連】		【支 部】					
			第 1 グループ 7 支部 [予算額] 500 万円以上		第 2 グループ 43 支部 [予算額] 100～500 万円		第 3 グループ 33 支部 [予算額] 100 万円未満	
1 位	和歌山県	60.71%	東 淀 川	35.06%	住 吉	62.31%	水 口	93.75%
2 位	滋 賀 県	59.70%	大 淀	28.72%	和 歌 山	57.26%	新 宮	92.86%
3 位	兵庫県第 4	51.59%	南	27.25%	草 津	52.70%	宮 津	92.31%
4 位 以下 (収納率順)	(40%以上) 兵庫県第 2 大阪府第 4 大阪府第 5 (30%以上) 奈良 県 大阪府第 3 京 都 府 兵庫県第 3 (30%未満) 大阪府第 1 大阪府第 2 兵庫県第 1		(20%以上) 中 京 (20%未満) 東 神 戸 北		(50%以上) 東大阪、福 島 (40%以上) 旭 、 姫 路 富田林、岸和田 左 京、浪 速 天王寺、泉大津 大 津、東住吉 泉佐野、茨 木 灘 、 東 山 城 東、葛 城 (30%以上) 伊 丹、門 真 阿倍野、下 京 明 石、枚 方 堺 、 奈 良 上 京、吹 田 豊 能、尼 崎 宇 治、須 磨 八 尾、西 伏 見 (30%未満) 加古川、芦 屋 右 京、西 宮 兵 庫		(90%以上) 社 (80%以上) 峰 山、彦 根 長 浜、福知山 (70%以上) 港 、 田 辺 海 南、今 津 (60%以上) 柏 原、西淀川 龍 野、西 成 相 生、豊 岡 湯 浅、舞 鶴 (50%以上) 西 脇、近江八幡 桜 井、御 坊 生 野、粉 河 洲 本、長 田 三 木 (50%未満) 園 部、東 成 吉 野、和田山	

**令和 5 年度 会費納入のお願い**

令和 5 年度会費 (令和 5 年 7 月～令和 6 年 6 月分) につきまして、口座振替をお申し込みの方々は、7 月 27 日付で、ご指定の口座より、お引き落としをさせていただきます。

その他の方々につきましては、7 月下旬に郵便にて、納付書を送付させていただきましたので、ご確認の上、納入をお願いいたします。

**会費納入は**  
**口座振替**で  
申し込みは事務局 (06-6944-9040) まで

## 読書

「その街に行かなくてはならない。なにがあらうとー」という独特のフレーズが目にとまって、これは読まなあかん、と直感して、近くの書店へ走った。

村上春樹の久しぶりの長編作品だ。

入口近くの新刊の棚に平積みになっている黒い本には金色の帯がかかっている、harukiというサインが白抜きになっていた。

早速購入し、レジで店員さんにカバーをつけてもらった。

帰るまで待ちきれず、書店の横のカフェに入った。表紙をめくるまでのわくわく感、新品の紙と、微かなインクのかおり。

注文したコーヒーがすぐ運ばれてきたので、本を汚さないように直ぐに飲み干して、また読み進めた。

紙のやわらかな白、厚み、めくる音などなど。どれくらい物語の世界に浸っていただろう。94頁のところどころで用事を思い出してカフェを出た。

661頁建のこの本は、さすがに重いし、カバンも膨らむが、続きが読みたくて持ち運びながら読み進めている。

村上ワールドを五感で楽しむこの感覚は、かつて普通のことであったが、今となっては特別なことになっている。約35年前に読んだ全面赤い表紙と緑の表紙の2冊セットの本のことを思い出した。引っぱり出して、今読んだらどんな感じかなと想像してみる。

(中京支部 小林由香)



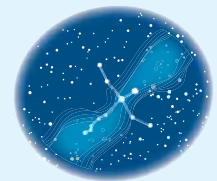
## 近税政本部のうごき

- 第3回財務委員会 (Web会議) (5月11日)
  - ・会費収納率の向上策について
  - ・税理士制度発展募金の状況について 他
- 第2回組織委員会 (Web会議) (5月16日)
  - ・会員研修会の開催について
  - ・組織率(会費収納率)の向上策について 他
- 第3回後援会対策委員会 (Web会議) (5月18日)
  - ・後援会支援規程の達成状況について
  - ・要件未達成後援会への対策について 他
- 会員研修会 (6月10日)
- 政策・国対合同委員会 (Web会議) (6月23日)
  - ・近税政のしおり・Q&Aの改訂について
  - ・令和6年度税制改正要望について 他
- 第1回広報委員会 (7月5日)
  - ・機関紙第263号(5月号)の批評
  - ・機関紙第264号(8月号)の編集について
  - ・機関紙第265号の編集企画に関する件 他

「表紙」題字：第8回川柳・書道コンテスト  
書道テーマ部門 最優秀会長賞  
(作=小倉さやか 上京支部)

「焦点」題字：第8回川柳・書道コンテスト  
書道テーマ部門 優秀賞  
(作=東智之 上京支部)

## 銀河系



最近児童書を買いに書店に行く機会が増えまし

た。書店では、懐かしさと新鮮さがゆえに、あっという間に時間が経ってしまいます。児童書は、手に取ると子供の時とは違った視点で改めて気づかされること、また言葉の裏に隠された本質を改めて考えることができます。この点が児童書を読む魅力です。そして普段は文字が多い本や紙面を読む機会の多い大人には、美しい絵や言葉で癒しを与えてくれる絵本をお勧めしたいです。私も短編で文字数が少なく、思い巡らせながらのんびり読み進めることのできる詩集も気に入っています。

書籍も機関誌も、言葉を紙で手に取ることのできる重みのある活字媒体。活字離れが進む中、デジタル媒体と共存しながら、世代に関係なく、引き続き文字・活字文化を大切にしていかなければなりません。

(芦屋支部 吉田智代)



# 共済制度のご案内

## 小規模企業 共済制度

将来の備え&節税  
今日からおトク、未来もナットク。

小規模企業共済制度のおトクな3つのポイント

- ① 掛金は加入後も増減可能、全額が所得控除
- ② 共済金の受取りは一括・分割どちらも可能
- ③ 低金利の貸付制度を利用できる

ご加入または関与先様等  
ご紹介で契約いただくと、  
紹介事務費をお支払いいたします!

## 経営セーフティ共済 (中小企業倒産防止共済制度)

取引先が突然、倒産・・・  
そんな「もしも」に備える安心のセーフティネット。

経営セーフティ共済の安心の4つのポイント

- ① 無担保・無保証人で、掛金の10倍  
(最高8,000万円)まで借入れ可能
- ② 取引先が倒産後、その事業者との取引確認が  
済み次第すぐに借入れできる
- ③ 掛金の税制優遇で高い節税効果
- ④ 解約手当金が受け取れる

## 中小企業 退職金共済制度

中小企業のための、国の退職金制度。  
働くみんなに、大きな安心。

中小企業退職金共済制度の4つのポイント

- ① 新規加入時に、掛金の一部を国が助成
- ② 掛金は全額非課税
- ③ 社外積立だから管理もラクラク
- ④ パートタイマーや家族従業員も加入OK



お問い合わせ

(株)日税サービス (阪奈税協事務委託先) TEL.06-4794-0071

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目4番3号 ACN天満橋ビル5階